学校番号	204

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　日本史探究」（清水書院）						
副教材等	新詳日本史（浜島書店）、高校学校日本史探究ワークノート（清水書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現在とは、過去の積み重ねである。過去を知ることは、現在を知ることにつながる。そのため、原因と結果だけでなく、その過程を意識しながら学んでもらいたい。また、教科書だけでなく、諸資料を使って知ることのできる過去の事象をもとに、現在にみられる様々な事象の背景を理解する力を養うことで、思考の幅を広げてもらいたい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
日本の歴史について、地理的条件や世界の歴史との関連の中で展開してきたことを理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べ・まとめる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
日本の歴史について、現在とのつながりに注目するなど、様々な視点から考察し、それらを効果的に説明する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史を学ぶ中で、課題に主体的に取り組む態度を養い、日本社会を構成する一員としての意識や他国の文化を尊重することの大切さなどへの自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の歴史について、地理的条件や世界の歴史（特に東アジア世界）との関連の中で展開してきたことを理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べ・まとめる技能を身につける。	日本の歴史について、それぞれの事象の意味や意義、伝統や文化としてみた場合の特色などに注目したうえで、時期や推移、事象相互の関連や現在とのつながりなどから多面的・多角的に考察し、それらを効果的に説明・議論する力を養う。	日本の歴史を学ぶ中で、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察から育まれる日本社会に対する理解や愛情、構成する一員としての意識、他国の文化を尊重することの大切さなどへの自覚を深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	近世の日本と世界／近現代の地域・日本と世界	・幕藩体制の成立 ・江戸時代の社会 ・近世の国際社会 ・江戸幕府の政治の推移 ・江戸時代の産業の発展 ・江戸時代の交通と都市の発展 ・儒学と学問の展開 ・寛永・元禄文化 ・吉宗の政治－享保の改革 ・村と町 ・田沼政治と寛政の改革	a:江戸時代初期から寛政の改革までの歴史を東アジア世界との関連の中で理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。 b:江戸時代における事象の意味や意義、文化の特色などを、多面的・多角的に考察したり、それらを効果的に説明したりすることができる。 c:課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、深い理解を通して育まれる歴史に対する愛情を持ち、他国や他国の文化を尊重する。	定期考査 小テスト	定期考査	ワークノート 振り返りプリントノート
		・異国船、列強の接近 ・天保の改革、諸藩の改革 ・化政文化 ・学問、思想の発達 ・開国と開港 ・尊王攘夷運動の展開 ・幕府の崩壊と明治維新 ・明治政府と国家 ・明治政府の経済政策 ・明治の宗教・文教政策 ・明治初期の外交 ・文明開化 ・自由民運動の展開	a:幕末から明治初期までの歴史を東アジア世界との関連の中で理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。 b:それぞれの時代における事象の意味や意義、文化の特色などを、多面的・多角的に考察したり、それらを効果的に説明したりすることができる。 c:課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、深い理解を通して育まれる歴史に対する愛情を持ち、他国や他国の文化を尊重する。	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンス課題	ワークノート 振り返りプリントノート

2学期	近現代の地域・日本と世界	・立憲体制の確立 ・条約改正交渉 ・日清戦争前後の国内政治 ・日清戦争 ・日清戦争後の東アジア情勢 ・日露戦争 ・日露戦争後の東アジア情勢 ・明治の思想・教育 ・明治文化 ・近代産業と社会問題 ・政党政治の発展 ・第一次世界大戦と日本 ・大戦景気 ・ヴェルサイユ体制	a:大日本帝国憲法制定から第一次世界大戦の終結までの歴史を世界の国々との関連の中で理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。 b:それぞれの時代における事象の意味や意義、文化の特色などを、多面的・多角的に考察したり、それらを効果的に説明したりすることができる。 c:課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、深い理解を通して育まれる歴史に対する愛情を持ち、他国や他国の文化を尊重する。	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンス課題	ワークノート 振り返りプリントノート
		・大正デモクラシー ・政党内閣制の確立 ・大衆文化 ・金融恐慌 ・協調外交 ・ファシズムの台頭 ・日本の国際連盟脱退 ・軍部の台頭 ・日中戦争と戦時体制 ・第二次世界大戦と日本 ・アジア太平洋戦争 ・戦時下の国民生活 ・アジア太平洋戦争の終結	a:第一次世界大戦後から太平洋戦争後の日本までの歴史を世界の国々との関連の中で理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。 b:それぞれの時代における事象の意味や意義、文化の特色などを、多面的・多角的に考察したり、それらを効果的に説明したりすることができる。 c:課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、深い理解を通して育まれる歴史に対する愛情を持ち、他国や他国の文化を尊重する。	定期考査 小テスト	定期考査	ワークノート 振り返りプリントノート

3学期	近現代の地域・日本と世界	・アメリカの占領政策 ・アメリカ占領下の経済と政治 ・戦後の経済政策 ・戦後復興と人々の暮らし ・冷戦と占領政策 ・主権回復後の政治 ・55年体制の成立 ・主権回復後の日米関係 ・高度経済成長 ・高度経済成長が社会に与えた影響 ・55年体制下の政治 ・1990年代の政治と経済 ・今後の日本の展望	a:第二次世界大戦後から現代までの歴史を世界の国々との関連の中で理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。 b:それぞれの時代における事象の意味や意義、文化の特色などを、多面的・多角的に考察したり、それらを効果的に説明したりすることができる。 c:課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、深い理解を通して育まれる歴史に対する愛情を持ち、他国や他国の文化を尊重する。	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンス課題	ワークノート 振り返りプリント ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度